

東北大学法科大学院 教員紹介（兼任教員）

米村 滋人（よねむら しげと）	
現 職	
東京大学大学院法学政治学研究科教授	
学歴・学位	
2000 年 3 月	東京大学医学部医学科卒業
2004 年 3 月	東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了
主な経歴	
2000 年 5 月～2001 年 5 月	東京大学医学部附属病院非常勤医員
2001 年 6 月～2002 年 3 月	公立昭和病院内科
2004 年 5 月～2005 年 8 月	日本赤十字社医療センター第一循環器科医師
2005 年 9 月～2007 年 3 月	東北大学大学院法学研究科助教授
2007 年 4 月～2013 年 9 月	東北大学大学院法学研究科准教授（職名変更）
2013 年 10 月～2017 年 12 月	東京大学大学院法学政治学研究科准教授
2017 年 12 月～	東京大学大学院法学政治学研究科教授
担当科目	
医事法	
最近 5 年間の主要業績：	
【著書】 ・米村滋人『医事法講義』（2016 年 6 月）（日本評論社） ・米村滋人編『生命科学と法の近未来』（2018 年 3 月刊行予定）（信山社） ・窪田充見編（大村敦志＝道垣内弘人＝山本敬三編集代表）『新注釈民法(15)債権(8)』612-677 頁（2017 年 2 月）（共著） 【論文】 ・米村滋人「人格権の権利構造と『一身専属性』（1）～（5 完）」法学協会雑誌 133 巻 9 号 1311-1350 頁、12 号 1956-1987 頁、134 巻 1 号 80-106 頁、2 号 277-301 頁、3 号 407-473 頁（2016 年 9 月～2017 年 3 月） ・米村滋人「医学研究における個人情報保護の概要と法改正の影響」NBL 1103 号 6-15 頁（2017 年 8 月）	

- ・米村滋人「最高裁判決の意義と今後の制度設計のあり方（小特集：責任無能力者による不法行為と「家族」の責任）」法律時報 89 卷 11 号 108-111 頁（2017 年 10 月）
- ・米村滋人「責任能力のない精神障害者の事故に関する近親者等の損害賠償責任」法学教室 429 号 50-56 頁（2016 年 5 月）
- ・米村滋人「死体の法的地位と所有権・人格権」奥田純一郎＝深尾立編『バイオバンクの展開—人間の尊厳と医科学研究』234 頁～247 頁（上智大学出版、2016 年 12 月）
- ・米村滋人「医療の一般的規制と再生医療安全性確保法」年報医事法学 30 号 136-145 頁（2015 年 9 月）
- ・米村滋人「損害帰属の法的構造と立法的課題」NBL 1056 号 30-38 頁（2015 年 8 月）
- ・米村滋人「損害帰属の法的構造と立法的課題——因果関係・賠償範囲の問題を中心に」現代不法行為法研究会編『別冊 NBL 不法行為法の立法的課題』163 頁～179 頁（商事法務、2015 年 10 月）
- ・米村滋人「人格権の譲渡性と信託——ヒト試料・著作者人格権の譲渡性を契機に」水野紀子編著『信託の理論と現代的展開』65 頁～99 頁（商事法務、2014 年 10 月）
- ・米村滋人「再論・『患者の自己決定権と法』」岩瀬徹＝中森喜彦＝西田典之編『刑事法・医事法の新たな展開 下巻（町野朔先生古稀記念）』83 頁～108 頁（信山社、2014 年 3 月）
- ・辰井聡子、境田正樹、高山佳奈子、米村滋人、曾我部真裕「次世代医療の実現に向けた法制度の在り方：提言」立教法務研究 7 号 178-188 頁（2014 年）
- ・米村滋人「研究不正と法の考え方——科学研究に対する法規制の基本思想」科学 85 卷 2 号 169-174 頁（2015 年 1 月）
- ・米村滋人「大災害と損害賠償法」論究ジュリスト 2013 年夏号 64-72 頁（2013 年 8 月）
- ・米村滋人「『利他的医療』の法原理と国家法」JEMC ジャーナル 10 号 28-34 頁（2013 年 3 月）
- ・米村滋人「公的社会保障給付と私法契約」水野紀子編『社会法制・家族法制における国家の介入』91-113 頁（有斐閣、2013 年 2 月）